

# 第4次新潟県資源循環型社会推進計画の概要

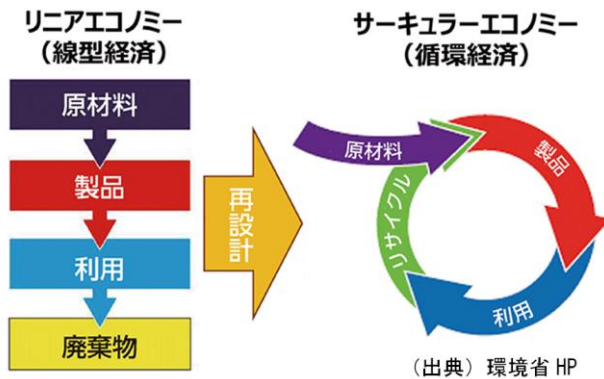
## 計画の位置づけ・計画期間

- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の5に基づく、県内における廃棄物の減量その他その適正な処理に関する計画です。
- 計画期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間です。

## 基本理念

### 「資源を大切に作る循環型の地域社会」の実現

- 廃棄物の排出をできる限り抑制し、廃棄物となったものは再使用、再生利用、エネルギー回収の順にできる限り循環的な利用を行った上で、循環的な利用ができないものは適正な処分を確保するという、環境と経済が調和した「資源を大切に作る循環型の地域社会」の実現を図ります。
- また、基本理念の実現に向けた施策の展開を通じ、SDGsの達成にも寄与することを目指します。



(出典：国連広報センター)

## 資源循環型社会の形成に向けた目標

- 前計画の目標の達成状況や国の基本方針を踏まえ、令和12年度までに達成すべき計画目標を設定します。
- また、計画の進行管理のため、令和10年度の間目標を定めます。

項目 ※◎は重点目標	R5実績		中間目標 (R10)	目標 (R12)	
	本県	全国			
一般廃棄物	◎ 1人1日当たりの焼却処理量	741g	690g	698g以下	681g以下
	出口側の循環利用率	19.6%	19.6%	22.0%以上	22.9%以上
	最終処分率	9.3%	8.1%	9.3%以下	9.3%以下
産業廃棄物	◎ 最終処分場の残余年数	14.6年	20.0年 <sup>※1</sup>	9.5年以上	7.8年以上
	排出量	9,173千t	365百万t	9,225千t以下	9,246千t以下
	出口側の循環利用率	47.9%	約37% <sup>※2</sup>	47.9%以上	47.9%以上
	最終処分率	1.6%	2.4%	1.8%以下	1.8%以下
不法投棄	不法投棄が少なくなったと感じる県民の割合	30.6% <sup>※3</sup>	—	増加させる	増加させる

※1：R4実績 ※2：R4実績 ※3：R6実績

## 施策の展開

### 資源循環の推進

県民、事業者、NPO・関係団体、市町村などと連携・協力し、廃棄物の排出抑制と資源循環の取組を更に推進し、焼却処理量の削減を目指すとともに、天然資源の消費抑制、温室効果ガスの排出量や環境負荷の低減を進めます。

3R推進に向けた啓発・県民運動の推進

廃棄物の発生抑制、循環的利用の推進

循環型社会ビジネスの促進

#### 主な取組

- 廃棄物分野における脱炭素化の観点も踏まえ、焼却ごみの発生抑制、資源循環の取組を進めます。
- プラスチックの資源循環に向けて、使い捨てプラスチック製品の使用削減などの更なる意識醸成を図るほか、新潟県食品ロス削減推進計画に基づき、「残さず食べよう！にいがた県民運動」の参加者及び協力店の拡大を図り、食品ロス削減に対する理解を促進します。
- 波及効果の高い排出抑制・リサイクル施設の整備、資源の循環利用・再生材の利用拡大等のための体制整備の取組等への支援などにより、循環産業の活性化を図ります。

### 廃棄物の適正処理の推進と不法投棄対策

廃棄物処理業者に対する監視・指導や排出事業者の適正処理への意識向上、講習会の実施、優良廃棄物処理業者の育成などを引き続き推進するとともに、廃棄物の適正処理に係る新たな課題にも適切な対応を進めます。

また、不法投棄の未然防止、早期発見に努め、不法投棄ゼロを目指します。

一般廃棄物の適正処理の推進

産業廃棄物の適正処理の推進

不法投棄対策の推進

#### 主な取組

- リチウムイオン電池等について、市町村及び関係団体等と連携し、分別排出徹底の周知を行うとともに、リチウムイオン電池等処理困難物の適正処理、再資源化を促進します。
- 低濃度PCB廃棄物の期限内処分に向けて、保管事業者等に対する指導等を行います。
- 県民総ぐるみの監視体制を充実させ、より多くの目で継続的に不法投棄を監視します。

### 廃棄物処理基盤・体制の整備

一般廃棄物処理施設の広域化や集約化により持続可能な処理体制を確保するとともに、公共関与の広域最終処分場の整備を着実に進めます。また、激甚化・頻発化する災害に備え、災害時の適正かつ迅速な廃棄物処理体制の整備に努めます。

一般廃棄物の処理施設の整備

産業廃棄物の処理基盤整備

災害廃棄物の処理体制の整備

#### 主な取組

- 一般廃棄物処理施設の広域化・集約化について検討するなど、計画的かつ適切な整備を推進し、持続可能な処理体制を確保します。
- 公共関与による廃棄物広域最終処分場の整備について、地域の理解と協力を得ながら、安全・安心な施設整備と運営の実現に向け着実に取組を進めます。
- 激甚化・頻発化する災害に備え、災害廃棄物を、適正かつ円滑・迅速に処理するための体制の整備・充実を図ります。